2024年11月12日

心臓血管外科における開胸術後のせん妄の発症要因

◆研究の目的と概要◆

当院では、心臓血管外科における開胸術後のせん妄の発症要因について調べています。本研究では、せん妄予防に関する看護ケアの示唆を得ることを目指し、今後のよりよい看護を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2023年4月から、2024年3月までの間に、心臓血管外科で開胸術を受けられた方です。

◆研究に使用される情報・試料◆

緊急手術の有無、せん妄評価スケールの値、看護問題立案状況、抑制の有無、認知症の有無、自己抜管の有無、転倒の有無、看護必要度、薬剤、既往歴、睡眠状況（睡眠薬の服用）、せん妄の既往、手術時間、ICU滞在期間、出血、輸血の有無、水分出納バランス、疼痛、年齢、性別、アルコール摂取の有無

◆研究方法◆

本研究は電子カルテ内の情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

心臓血管外科 研究責任者 田坂 南都美

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明